



## SEAMASTER

DIVER 300M CO-AXIAL CHRONOGRAPH 44 MM  
ステンレススティール & ステンレススティール

キャリバー  
3330

212.30.44.50.01.002

- Ceramic bezel
- Co-Axial escapement
- Si14 silicon balance spring
- Automatic
- Chronometer
- Sapphire crystal
- Anti-reflective treatment on both sides
- Screw-in crown
- Helium escape valve
- Water-Resistant to a relative pressure of 30 bar (300 metres/1000 feet)



### 機能

リュウズは2つあります。

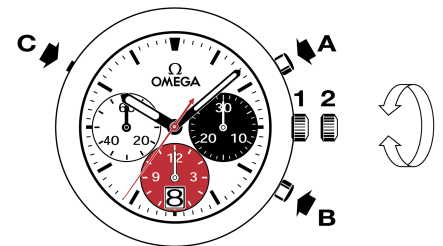
1. 通常位置（着用時）： リュウズがケース側に押し込まれている状態で、時計の防水性が確保されます。

再着用時： 時計を45時間以上着用していない場合は、1の位置でリュウズを巻き上げます。

2. 時刻（時・分・秒）の設定： リュウズを2の位置に引き出すと、秒針が停止します。リュウズをどちらか一方へ回し現在時刻に合わせます。時報に合わせてリュウズを1の位置に押し戻すと秒針が同調します。

日付の修正： 修正ボタンがあります：10時の位置の修正ボタンCを押します。

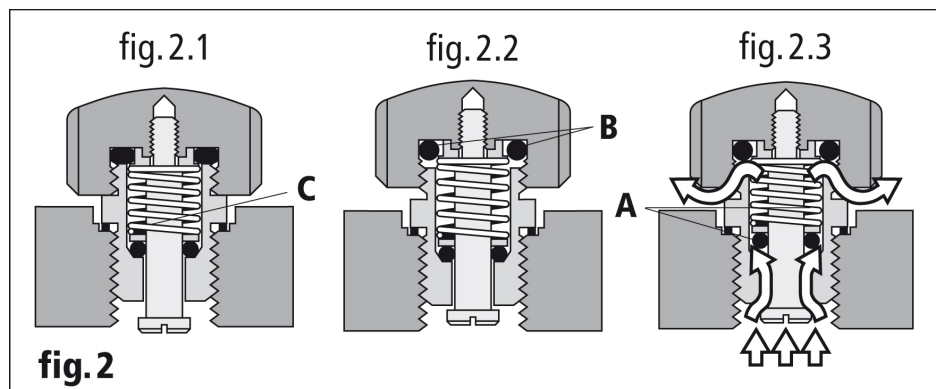
1/8秒単位で最高12時間まで計測可能です。



## ヘリウム・ エスケープバルブ

ヘリウム・ エスケープバルブの使用方法 ( fig.2 )

通常位置 ( fig. 2.1 ) で、オメガ・ ヘリウム・ エスケープバルブはパッキンBにより完全防水性を保持していますが、ねじ込まれているためエスケープバルブとしては機能しません。



圧力低減過程で、このメカニズムを機能させるには、エスケープバルブのリユウズをゆるめます ( fig. 2.2 )。ここで弁は外側からは防水性となります。内圧が外圧より高くなると、パッキンAが押され、密閉状態が解除され、ガスが逃げます ( fig. 2.3 )。一旦圧力が解放されると、パッキンAはスプリングCにより元の位置に押し戻されます ( fig. 2.2 )。

この動作は、圧力低減過程で自動的に数回繰り返されます。大気圧に達したら、エスケープバルブのリユウズをねじ込みます ( fig. 2.1 )。

ヘリウム・バルブに組み込まれた日付修正ボタン付き時計：修正を行うには、ヘリウム・バルブが完全にねじ込まれていなければなりません。

備考：バルブのリユウズをねじ込むのを忘れても、時計の防水性は50m ( 5気圧 ) までは保たれます。しかし、完全な防水性はバルブのリユウズが再びねじ込まれたとき確保されます。